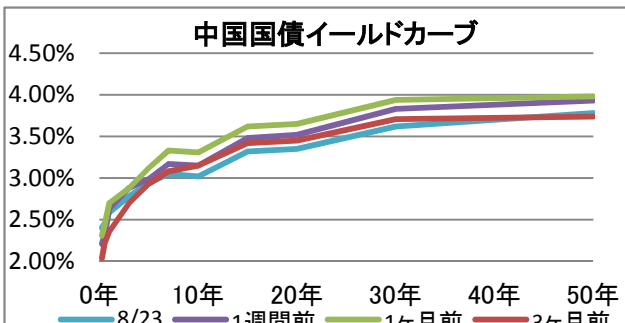
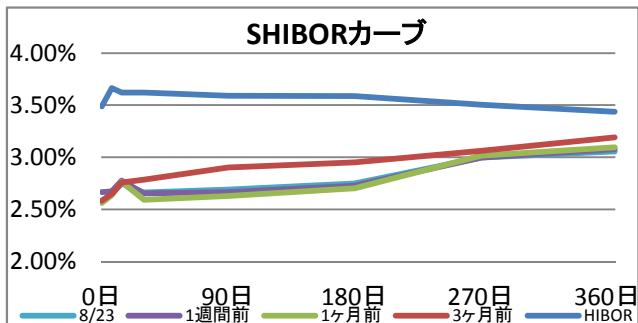


①市場概況

基準レート		2019/8/23	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0572	0.0260
	JPY/CNY	6.6371	0.0105
SHIBOR	3M	2.6900%	+0.0240%
国債利回り	10年	3.06%	+0.04%
上海総合指数		2,897.43	+73.61



(1) 概況

米国による9月からの追加関税導入が意識される中で中国政府の姿勢に変化は見られなかったが、米国から9月に中国と協議する見通しが伝わり、中国人民銀行による貸出金利の低下を企図したLPR制度改定や住宅ローンへの新LPRの適用が公表されて金融市场も落ち着きを取り戻すかに思われたが、金曜日のニューヨーク株式市場が始まる前に中国政府が対米報復追加関税を発表し、トランプ大統領がこれに反応して更なる追加関税実施と米国企業に対する中国からの退出検討要求に言及するに及び、金融市场は大幅反落する展開となった。

また、香港での「逃亡犯条例」を契機とするデモについても、トランプ大統領が「天安門事件」を引き合いに中国政府に非暴力による解決や通商協議と関連づけた発言をし、フランスでのG7でも議題となることが予想されている中で、週末に香港警察が威嚇とはいえ発砲したとの報道もあり、沈静化の兆しは見られない。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,000億元に対し、新規リバースオペ2,700億元を実施して中立を維持した。また、中国人民銀行は借入コスト低減策として市場金利変動をより反映させるローンプライムレート (LPR) 制度の改定 (毎月20日にCFETSがレート公表) を発表し、CFETSは8月のLPR (1年) が従来より△0.06%低い4.25%となると公表している。

(3) 主な経済指標

特になし。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.5860%	2.5900%	2.5900%	
1W	2.6510%	3.5000%	2.5000%	2.3800%
2W	2.7450%	3.0000%	2.7400%	
1M	2.6630%	3.9000%	2.9000%	2.6000%
3M	2.6900%	2.6900%	2.8000%	2.7800%
6M	2.7480%	2.7480%		2.9500%
9M	2.9960%	3.2000%		3.0000%
12M	3.0560%			3.0500%

資金需給は概ね充足され、月末越えの資金も活発に取り引かれて安定しているものの、中国人民銀行の調節が中立を維持していることから金利水準が低下するまでには至っておらず、ターム物の出合いも限定的な状況が続いている。

NCD市場でも、引き続き長めの期間を中心に投資需要が強いものの、短期資金の金利水準が下げ渋っていることもあって金利水準は高止まりの状況が続いている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	SHIBOR	無担保資金
ON	2.12%	2.15%
1W	2.25%	2.28%
1M	2.40%	2.45%
3M	2.50%	2.60%
6M	2.60%	2.70%
12M	2.70%	2.80%

中国国内の米ドル金利は、人民元安が続いてドル建て債務の負担感が増す中、CFETSが公表している米ドル資金取引加重平均レートを国内銀行同士の取引に限定する改正が発表され、公表レート水準の低下が予想されたことから金利水準が全体的に低下している。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.44%	2.50%	2.75%	2.78%	3.12%
6M	2.52%	2.58%	2.88%	2.95%	3.29%
1Y	2.62%	2.68%	3.04%	3.08%	3.52%
3Y	2.78%	3.08%	3.33%	3.38%	3.95%
5Y	2.96%	3.25%	3.62%	3.70%	4.50%
10Y	3.06%	3.51%	4.08%	4.25%	5.31%

中国国内景気や米中通商協議への先行き懸念が強い中で、前週に続き人民元安により海外からの資金流入が鈍化したことに伴い、これまで海外勢が買っていた国債や政策金融債に調整が入って利回りの上昇が続き、政策金融債や社債ではデュレーションの短期化の動きも見られたが、地方債は利回り上昇も限定的でしっかり展開となった。これにより、イールドスプレッドはスティーピングに転じ、クレジットスプレッドは総じて小幅に縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	6.4 / 2.8
1M	23.0 / 24.0
3M	68.0 / 71.0
6M	127.0 / 132.0
9M	179.0 / 198.0
12M	242.0 / 255.0

対ドル基準値は7.0572と前週末比+260pipsのドル高元安、対円基準値は6.6371と同+105pipsの円高元安と、米国による9月からの関税引上げを意識した元安トレンドが続き、中国大手銀行のドル売りも見られたものの元安の流れを止めるまでには至っていない。

スワップ幅も、大手行によるドル売り（オファー）の動きが強くなったことにより縮小に転じている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.66%		2.38%
6M	2.65%	2.78%	2.30%
9M	2.64%	2.81%	2.30%
1Y	2.64%	2.84%	2.38%
3Y	2.72%	3.02%	2.38%
5Y	2.87%	3.23%	
7Y	3.01%	3.40%	
10Y	3.17%	3.56%	

短期の基準金利が漸く小幅ながら低下したものの、債券利回りが上昇に転じたことから、金利スワップのレート水準も前週に続き上昇している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入